

会 議 記 録 (1)

会議名称	第3回北本市高齢者福祉計画2018・第7期介護保険事業計画策定委員会
開会及び閉会日時	平成29年11月28日(火) 午後1時30分～午後3時
開催場所	北本市文化センター 第3研修室
出席者氏名	保科寧子委員、中村聡明委員、阿部和正委員、荻野義信委員、川島裕代委員、関口 明委員、清宮尚也委員、原田和弥委員、服部百合子委員、青山研悦委員、金網幾代委員
欠席委員(者)氏名	岩崎雄一委員、遠井美智子委員、横田清委員、石井寿美子委員
事務局職員職氏名	高齢介護課長 関口 智明、課長補佐 平山 茂 高齢者福祉係長 長島 俊介、介護係長 小松 政毅
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 4 委員紹介 3 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 北本市高齢者福祉計画2018・第7期介護保険事業計画の素案について (2) 高齢者の自立支援・重度化防止等の取組を支援するための交付金に関する評価指標(案) (3) その他 4 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・委員名簿 ・北本市高齢者福祉計画2018・第7期介護保険事業計画 素案 ・高齢者の自立支援・重度化防止等の取組を支援するための交付金に関する評価指標(案)

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
高齢介護課長	1 開会
保科委員長	2 あいさつ
	3 議事
	(1) 北本市高齢者福祉計画2018・第7期介護保険事業計画の素案について
事務局	資料に基づいて説明
保科委員長	何かご意見、ご質問はありますか。
金網委員	11ページ 新たな介護保険制度の概要について、北本市の関連性をよく理解できました。ただ、説明を聞いたからこそ理解ができたので可能であれば、どの部分に反映されているなど、文章の連携がとれると読みやすいのではないのでしょうか。(1) 自立支援・重度化防止に向けた保険者機能の強化等の取組の推進の表を際立たせたほうが、北本市の取り組みが分かりやすいかと思えます。
事務局	54ページ 第3章 地域包括ケアシステムの深化・推進での章立てをしております。更に表などを作り、よりわかりやすくなるよう検討します。
荻野委員	77ページ、78ページ 介護保険サービスの基盤整備について、78ページの第7期における整備の方向性では現施設の稼働率等を考慮し、整備は行わないとありますが、現在では施設は間に合っているということでしょうか。
事務局	定期巡回・随時対応型訪問介護看護については、定員が定まっていないサービスであり、ここ数年、利用者が10人前後で変わらず推移しています。既存施設の経営に影響があってもいけないので、整備はしないということになっています。
	地域密着型通所介護についても、利用者が減っています。減少している事実と、市としては小規模多機能型居宅介護を普及させたいという部分があり、今回は整備を行わないという方針となりました。
川島委員	11ページ 新たな介護保険制度の概要について、表を大きくして欲しいです。ここに限らず全体的に表を見直して欲しいです。金網委員がおっしゃったように、流れがあると分かりやすいと思います。参照等があるとよりわかりやすいのではないかと思います。
	77ページ、78ページ 介護保険サービスの基盤整備について、表が77ページと78ページで見間違いしやすいです。
	また、前々回での介護離職についてはどこにどの程度、記載されているのでしょうか。

会 議 記 録

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>11ページに関しては、高齢者にも見やすくなるようレイアウトを変更します。</p> <p>77ページ、78ページに関してもレイアウトを検討したいと思います。</p> <p>介護離職については、74ページ 第2節 介護者への支援で文章として盛り込んでおります。タイトル部分からは外しております。</p> <p>参照部分については検討します。</p>
川島委員	<p>介護離職について、文章の中に入ってしまうと読み流しになってしまうのではないのでしょうか。介護者の集いなどよりも深刻な問題だと思いますので、項目立てしたほうがいいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>検討します。</p>
中村副委員長	<p>58ページ 第4節 介護予防の推進について、介護予防の為に推進していくための内容だと思います。その中で介護になぜなるのかという部分ですが、認知症が一つの項目としてありますが、骨粗しょう症の検診等について記載はありますか。</p>
事務局	<p>骨粗しょう症の検診等については、行っている場合であれば健康づくり課で行っていると思いますが、把握できておりません。</p>
中村副委員長	<p>行っているのであれば、検診を盛り込むべきではないのでしょうか。介護になる原因として、認知症も然り、高齢で体力が落ちて介護になる場合もあります。58ページ 運動事業では筋力低下や平衡感覚の低下とありますが、これはロコモティブシンドロームと言います。このロコモティブシンドロームを盛り込むのはいかがでしょうか。</p> <p>また、特定検診について記載はありますか。</p>
事務局	<p>特定検診は50ページに記載があります。介護予防推進のためには含めていない状況です。</p>
中村副委員長	<p>特定検診については、特定検診の受診率を上げるためにどのようなことが記載されているのかを盛り込むと良いのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>精査し、検討していきたいと思います。</p>
金網委員	<p>71ページ 第6章 災害等安全対策の推進 1 避難行動要支援者対策の推進について、以前、遠井委員が施設長となっている介護施設が北本市と協定し、福祉の避難所となるという広報の記事がありました。そういった具体的な部分書かれると良いのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>福祉避難所についてですが、基本的には位置づけとして一次避難所として小学校などで、二次避難所として介護施設等の福祉施設となっております。位置づけが少し異なりますので、そこは検討します。掲載については精査させていただきます。</p>

会 議 記 録

発 言 者	発 言 内 容
	<p>(2) 高齢者の自立支援、重度化防止等の取組を支援するための交付金に関する評価指標 (案)</p>
事務局	資料に基づいて説明
保科委員長	何かご意見、ご質問はありますか。
金網委員	<p>P D C A サイクルを盛り込んでほしいと思います。 学識経験者である委員長は、北本市の第7期計画について、どのような特色があると思われますか。</p>
保科委員長	<p>北本市の委員の力が大きいと感じています。介護予防は国の流れとして、費用の抑制の方向になっています。どうしても、そこを意識した計画作りになってしまいます。 今年、サロンが作られたこともあり、ボランティアや仕事をリタイアされた団塊の世代の方の力を活かせる様な計画になっていくことが良いと思います。 これからは金網委員のような専門職として長年活躍された方が仕事をリタイアされた後に、専門的な知識を活かしたボランティアをして頂いたり、後進の方を支援して頂いたり、そのような核となる仕事を担っていただけるシステム作りがあれば良いと思っております。</p> <p>3 その他</p>
事務局	<p>今後のスケジュールとして、12月中旬～1月中旬にかけてパブリックコメントを行います。 それまでに本日の素案に加え、評価指標を盛り込んだものをパブリックコメントにかけていく予定となります。その素案についても事前にお送りさせて頂く予定です。</p>
中村副委員長	<p>4 閉会 閉会のあいさつ</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。 2018年3月25日 委員長(会長) 保科寧子</p>	